

域が分布の中心であったサワラの分布域が北へ広まり、その分布の中心も北に偏ってきたのではないかと考えられます。

以上、京都府における3種の主要な浮魚類の漁獲状況の変化について述べてきました。海の中では大きな生態系の変化が起こっており、この変化は生物を取り巻く物理的環境（水温、塩分、潮流など）や生物的環境（餌料生物、食害生物、競合生物等）の変化に起因していると思われます。その中でも、海水温の上昇という物理的な現象が生物的環境へ与える影響は大きいと考えています。

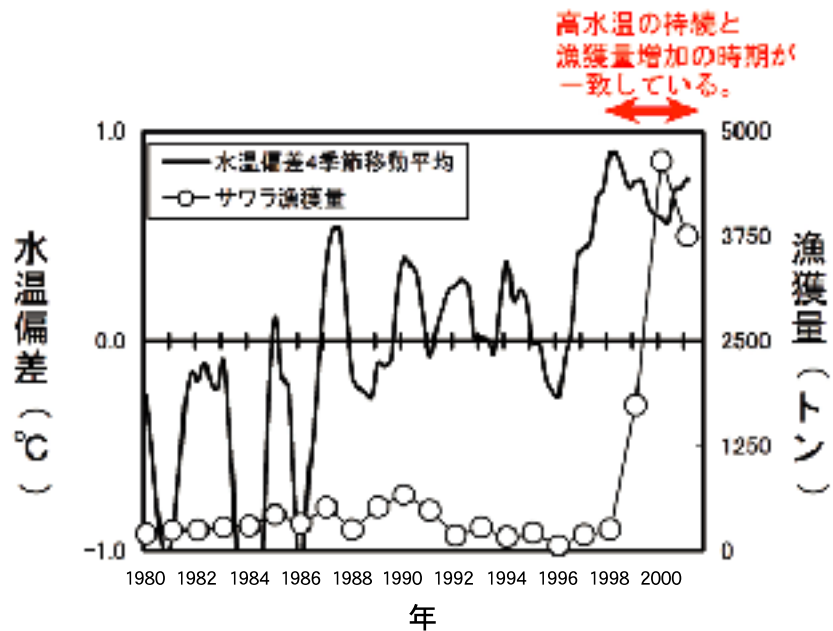


図11 日本海西区の水深50mにおける季節別水温偏差とサワラ漁獲量の推移

(サワラ漁獲量は漁業養殖業生産統計のさわら類漁獲量、水温偏差は独立行政法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所まとめ)